

議会を傍聴して



轟原公民会
森 田 恒 正さん

四月三日に開催された広域合併問題調査特別委員会と、四月九日に行われた第三回臨時議会議を傍聴しました。

特別委員会では、委員長から、三町合併の任意協議会を解散し、三町による法定合併協議会を設立するとの報告がありました。また、臨時議会では、町長からも、三町の町長にて、法定協の立ち上げを確認するとの発言があり、枠組みが出来上がった報告がありました。その後、執行部に対して、議員の皆さんから、合併に対する手順についての質疑がありました。

二回の議会傍聴で感じたことは、四町合併で市制か、三町合併かと、町民の関心の高い案件であるのに、傍聴者はごく少数で、住民に対し、十分な広報活動がなされていないのではないかと感じました。

特別委員会では、数名の議員が住民優先の発言をされましたが、発言回数が少なく、今ひとつ物足りない感じがしました。また、執行部に対しても、一歩踏み込んだ力強い発言がなかったように思います。議題に「今後の対応策について」の案件がありました。この件についても、もつと議員同士の活発な意見があってもよかったですのではないかと。

臨時議会では、議員と執行部との間に、質問・答弁のやりと

りが、何回も繰り返されました。賛成・反対は別として、執行部に対し、多くの質問者がいてもよかったですのではないかと感じます。

平成の大合併は、宮之城の将来を大きく左右する事になると思います。議員の皆さんには、プロ意識に徹して議会活動をされます事を切に望む次第です。

あなたも議会を傍聴しませんか

町議会定例会は、3・6・9・12月に行われます。日程等は事前にお知らせしますので、ぜひ傍聴にお越しください。

編集後記

空には鯉のぼりが舞い、若葉をなびかせる薫風の頃となりました。私たち議会もいよいよ任期を終え、六月からは、新しい構成による議会がスタートすることになります。そして、なかでも特に地方が背負う重要な課題「隣町との新しい町づくり」への取り組みも迫られています。今、私たちには、自治とは何か、なぜ地方分権か、なぜ、新しい町づくりなのか、確かな理解を求められているときであると思います。

今期、最後の「議会だより」をお届けします。この四年間、貴重なご意見もいただきました。ありがとうございます。これからもいろいろなご意見をお寄せください。